

教科目名 地域計画学 (Regional Planning)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 ○科目)

単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
地域計画とは、都市を中心として農村およびリゾート地域などを含めて地域全体の開発計画が、各地域地区の特性を活かすとともに、国土全体から見てバランスのとれたものであるように計画することをいう。しかし、地域計画は地域経済と密接な関係を有することから、本講義では地域経済学の基本も学習する。地域経済学の内容は、広域経済圏や民間資本を活用した社会資本整備 (PFI)、市場の失敗等について解説する。本講義では、地域計画の基礎と歴史を述べ、現在の都市・地域が抱えている様々な課題や戦後の地域開発政策について学ぶものである。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E1), JABEE 目標 (d2 a)	
(1) 地域計画及び地域経済学の基礎知識が理解できる。(定期試験) (2) 現在の都市・地域が抱える様々な課題を理解できる。(定期試験) (3) レポートでまとめた内容をプレゼンテーションでき、質疑応答ができる。(レポート&プレゼン)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7 9 10 11 12 13 14	1. 地域計画概説 2. 地域と時代の潮流 3. グローバル化のなかの地域経済 4. 国家を超える地域主義とグローバルリズム 5. 現代日本の地域経済と地域問題 6. 地域経済の形成過程 7. 大店法とまちづくり三法 8. 地域開発政策の検証	○地域計画と地域経済学の関連について理解する。 ○時代の潮流の中で地域を理解する。 ○EU, NAFTA, ASEAN, NIEs 等の広域経済圏を理解する。 ○市場の失敗を理解する。 ○PFI の歴史と現状を理解できる。 ○大店法と大店立地法の背景と歴史的意義を理解する。 ○まちづくり三法を理解できる。 ○戦前・戦後の地域計画を理解できる。 ○全国総合開発計画の歴史と変遷を理解できる。	【理解の度合い】
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	地域・都市問題に興味を持つ学生の受講を望む。また、適宜プリントを配布するので、ファイルを用意しておくこと。		【総合達成度】
教科書	岡田・川瀬・鈴木・富樫著, 「国際化時代の地域経済学第3版」, 有斐閣		
参考図書	日本まちづくり協会編, 『地域計画』, 森北出版		
事前準備学習	事前にインターネットで学習する範囲を調べておくこと。		
関連科目	交通システム工学, 環境計画 (C科), 都市計画 (C科), 都市景観学,		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について定期試験とレポート及びプレゼンテーションで評価する。 総合評価=0.7×定期試験の成績+0.3×(レポート&プレゼン) 総合評価が60点以上を合格とする。再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。なお、再試験の受験資格は、レポートを提出した者で、かつ、定期試験の成績が40点以上の者に与える。		【総合評価】 点